

# 令和6年度事業提案一覧表

## 【提案事業】

## 教育部

番号	事業名	所属名	種別	事業開始年度	事業概要
1	給食運営事業 (給食費無償化)	教育総務課	新規	R 6	学校給食法の規定に基づく保護者が負担すべき学校給食に要する経費(学校給食費)を補助(無償化)し、保護者の経済的負担を軽減することにより子育て支援を推進するとともに、子どもたちが安心して健康的な学校生活を送ることができる環境を整える。
2	給食運営事業 (給食費公会計化)	教育総務課	新規	R 6	給食を運営している門真市学校給食会の会計を私会計から市の一般会計に移すことにより、給食費の管理における透明性の向上及び給食の安定的な実施を図る。
3	給食運営事業 (小学校給食棟空調設備改修)	教育総務課	ローリング	R 5	小学校の給食棟に空調設備を設置し、衛生管理の徹底及び調理員の職場環境改善を進める。 空調設備の整備が実施されていない五月田小学校(適正配置対象校除く)の給食棟に、学校給食衛生管理基準にあうよう調理室にエアコンを設置し、安心・安全な給食の実施を行う。
4	給食運営事業 (屋上防水改修工事)	教育総務課	新規	R 6	屋上防水の劣化が著しく、雨水が給食棟内に侵入し雨漏りが頻発している。給食の提供に支障をきたさないよう、予め経年劣化した状態にある屋上防水の抜本的な改修を行う。
5	小学校施設整備事業 (屋内運動場空調設置等改修工事)	教育総務課	新規	R 6	児童が安全で安心な学校生活が送れるよう、小学校施設の改修を行い、教育環境の改善を図る。 避難所でもある体育館において、屋根、外壁、建具を改修するとともに、空調設備を設置し、LED照明に取替ることで、教育環境の改善を図る。
6	給食運営事業 (古川橋小学校給食棟建替)	教育総務課	新規	R 6	昭和40年に建てられた唯一の木造で、最も古い給食棟である古川橋小学校の給食調理場を安心・安全な学校給食が安定的に提供できるよう、ドライシステムを導入した給食調理場へと建替を行う。
7	水泳授業民間活力導入検討事業	教育企画課	ローリング	R 2	従来より、一律に学校内のプールを使用した当該校の教員により行われてきた水泳授業について、市内スイミングスクールや公営プールの設備、インストラクターなどの民間資源や民間活力を活用した実施の可能性を検討するとともに、その効果と検証を行い、民間との連携・協働による社会に開かれた教育課程の実現と学校施設の維持管理費用の低減を図る。
8	G I G Aスクール構想推進事業	教育企画課	ローリング	R 1	初等中等教育において、Society 5.0 という新たな時代を担う人材の教育や、特別な支援を必要とするなどの多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない一人一人に応じた個別最適化学習にふさわしい環境を速やかに整備するため、学校における高速大容量のネットワーク環境(校内LAN)の整備を行うとともに、全学年の児童生徒一人一人がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境を実現する。
9	教育のICT環境整備事業 (統合型校務支援システム導入部分のみ)	教育企画課	ローリング	R 4	学校における教員の事務の効率化や児童生徒の学ぶ環境の向上を図るため、その基盤となるICT(情報通信技術)化を推進し、パソコンやネットワークなどの庁内ICTインフラ環境や事務システムの整備と維持管理を行う。
10	学校適正配置推進事業	教育企画課	ローリング	H 30	少子高齢化、新学習指導要領、新しい教育内容など、時代の変化を踏まえながら、多様な人とのつながりの中で、門真の子どもたちが育っていけるよう、これからの時代に適したより良い教育環境、学校を整備する。
11	医療的ケア児に対する看護師配置事業	学校教育課	ローリング	R 4	医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が在籍する門真市立幼稚園・保育園・認定こども園、門真市立学校、放課後児童クラブにおいて、医療的ケア児が安心・安全に過ごすために必要な医療的ケアを実施し、医療的ケア児とその家族への支援を図る。

12	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置推進事業	学校教育課	ローリング	R 4	地域とともに子どもたちの成長に向けた共通の目標や見通しを持ち、各学校で「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。そのために必要な支援をしていく合議体として、本事業で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を設置し、子どもを真ん中にした「地域とともにある学校づくり」を推進する。
13	きめ細かな指導を実現する環境づくり事業	学校教育課	拡充	H 25	学校サポートスタッフおよびマネジメントサポーターを全校に配置し、自動音声ガイダンス等を活用することで、管理職によるマネジメント対応と教職員の働き方改革の取組を推進し、本市における学力向上および教育課題の解決に向けて教職員が課題に正対したきめ細かな指導に専念できる環境づくりを図る。
14	特別支援教育推進事業	学校教育課	ローリング	R 5	支援学級に在籍している児童生徒について、支援学級での学びの充実はもちろん、通常の学級での「交流及び共同学習」も充実させ、一人ひとりの状況に応じた学びの充実を図ることを目的とする。
15	「チーム学校」支援体制充実事業	学校教育課	拡充	R 5	いじめ・不登校・家庭環境等、子どもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、「チーム学校」を中心とした市全体で、いじめ予防の取組やSOSの出し方教育の推進、専門家や関係機関と連携したスクリーニング体制の構築や教育相談の充実を図ることで、すべての子どもの命を守り、一人ひとりが将来の自立に向けて成長する力を育成する。
16	部活動地域移行検討事業	学校教育課	ローリング	R 5	中学校部活動における部活動指導員をR6も継続して配置する。また、関係各課及び中学校長会代表者からなる定期会議を実施し、各種外部団体との連携を図り、地域移行モデル校を位置づけ休日の地域移行化等をR6に実施する。モデル校についてはR8の地域移行の完全実施をめざす。さらに他校についてもR6から各種目ごとに休日の地域移行をできるところから実施していく。
17	日本語初期指導教室設置運営推進事業	学校教育課	新規	R 6	門真市立学校に編転入してきた直後の日本語習得が必要な外国人児童生徒等に対して、学校教育で必要な生活指導や初期的な日本語指導を一定期間集中的に行うことで、学校生活に適應できるようにする。併せて自立支援通訳を各学校に派遣し、門真市の日本語指導や母語指導等を充実させるとともに、外国につながるの児童生徒の日本語能力の向上とアイデンティティの確立を図る。
18	第四中校区ブランディング事業	学校教育課	ローリング	R 5	新校のコンセプトを具現化（令和5年度からの4年計画）し、各種教育活動において、小中9年間を系統立てた取組を確立する。その取組を市内各中学校区のモデルケースとし、市内へ積極的に発信する。
19	NEXT学力向上事業	学校教育課	ローリング	R 2	本市学校教育における「個別最適な学び」と「協働的な学び」実現のため、個別教材としてのAIドリル「Qubena」の継続導入や学習支援スタッフの配置、教員の授業力向上のための計画的な先進校視察や教育フォーラムの開催、学力の年度内変化を見取るための学習到達度調査の実施など、5項目を実施する。